

国際服飾学会

中部・近畿・中国・四国ブロック会員 各位

ブロック企画担当 畠山絹江 濱田雅子 大江迪子
河上繁樹 伊豆原月絵

**2011（平成 23）年度
中部・近畿・中国・四国ブロック第 1 回研究例会のご案内**

初秋の候、会員の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、当ブロックでは下記の要領で第 1 回研究例会「西陣織の伝統と現代」を開催いたします。一般に見ることのできない非公開の資料館です。ご多忙の時期ではありますが、お誘い合わせの上、ぜひ御参加下さいますよう御案内申し上げます。洛風林、勝山織物のプロフィールは本案内の裏面をご参照下さい。当日、さらに詳しい関連資料を配布させていただきます。

記

日時：平成 23 年 11 月 26 日（土）13：30～16：00

会場：洛風林資料館 織園都
〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町 1130
Tel:075-721-3273

集合：13 時にグランドプリンスホテル京都集合。ここからタクシーに分乗して、洛風林資料館へ
住所：〒606-8505 京都府京都市左京区宝ヶ池
地下鉄烏丸線京都駅から国際会館駅下車（所要時間 20 分）徒歩 7 分（4-2 出口より徒歩 3 分）。<http://www.princehotels.co.jp/kyoto/>

内容：洛風林資料館見学・講演と実演

13:30～13:50 **資料館見学**（中南米、南欧、アフリカ、台湾他、世界各地の染織資料を所蔵）
※館内の写真撮影はご遠慮下さい

13:50～14:10 **講演 堀江麗子氏** 株式会社洛風林代表取締役社長
テーマ 「蒐集品を源とした現代の帯」

洛風林創業から現在に至るまで蒐集してきた資料。洛風林の帯はその資料を基に、ただ単に色柄の模倣ではなく新たな魅力を持つよう制作しています。また現在三代目になり、現代女性の求める、または時代に合う着姿を女性ならではの視点で考えます。

14:10～14:50 **講演 勝山健史氏** 染織作家（プロフィールは勝山織物の下記 URL 参照）
<http://www.katsuyamaorimono.co.jp/works/index.html>

テーマ 「糸の変化と装い」

明治前後で、絹糸の生産方法は大きく変化します。大量生産で効率化される中で生じた糸その物の変化によって、出来上がった生地にも、また着姿にも変化を与えるという事についてお話したいと思っております。

14:50～15:30 「箔作りの実演」 **斎藤隆夫氏** 引き箔屋三代目

箔作りの実演と共に、帯になるまでの段階資料（箔作り→裁断→織物）をお見せしたいと思います。

※職人さんですので、一方的に説明するよりも実演作業の中で 参加者の方に質問して頂くような、質疑応答形式の方がお話しやすいということですので、参加者の方にもそのようをお願いいたします。一般に見学できない貴重な機会です。

会費： 会員 非会員 2000 円 学生 無料

申込先： 11 月 19 日までに下記までご連絡ください。会場の都合により、先着 25 名といたします。

濱田雅子

e-mail hamadakobe@kcc.zaq.ne.jp

Tel & Fax 078-452-0383

携帯電話 090-9113-4472

洛風林の略歴

- 1952年（昭和27年）創業者堀江政吉の長男、堀江武が京都の帯問屋で修行の後、京都にて「洛風林」と屋号を改め工芸帯地として独自の作品創りを始める。
- 1964年（昭和39年）西陣の機業家を集め、研修会や見学会を行う「洛匠園」を主宰し、次世代の育成に取り組む。
- 1968年（昭和43年）～1970年（昭和45年）にかけて三度程に分けて海外の染織はもちろん、文化研究の旅に出向き、染織資料の収集も。
 - ・中南米の旅
 - ・南欧・アフリカ民芸の旅
 - ・台湾各地にて民芸の旅研究旅行後は、その地で受けた感動を元に帯作りに反映。
- 1977年（昭和52年）堀江武の長男である徹雄が社長就任。
社長就任以前に設立した工房「おりべ」にて、帯の制作を続けると共に「洛匠園」の意思を継ぎ「洛風会」とし、勉強会や研究会を主宰。
その後、二代に亘って収集した参考資料を展示・保管・研究するべく「おりべ」の敷地内に「染織資料館 織園都」を設立。
- 2011年（平成23年）堀江徹雄の長女 堀江麗子社長就任。
社長就任以前から、創業当時から同人として帯作りに携わっていた勝山織物5代目の勝山健史氏と、洛風林資料館所蔵の古代裂に見る美しさを求め、養蚕からこだわった絹糸を使用したものづくりを始める。

勝山健史氏プロフィール

- 1966年 京都府生まれ。西陣で代々続く機屋「勝山織物」5代目として生まれる。
- 1991年 修行期間を経て家業へ。
- 1992年 洛風林同人として帯作りに携わる。
そのころ同資料室で目にした古裂帖に魅せられ、ものづくりへの挑戦が始まる。
自身が求める美しさを探究して西陣で手に入るあらゆる糸を試すも、求める風合いにたどりつかず苦しむ。同時期に、訪問先のミラノの仕立屋で偶然、志村明氏のポケット裂と出会う。
- 2002年 自身のものづくりへの想いをこめた工房を長野に設立。
志村氏を右腕として工房に迎え、養蚕から織まで一貫した「ものづくり」を始める。
- * 着物や帯などの作品制作と並行しながら、東京国立博物館・京都国立博物館・那覇市歴史博物館・ブリヂストン美術館、(財)元興寺文化財研究所での修復事業などに携わる。
- * 絹織物ディレクターとして、絹の無限の美の可能性を追求する。

●主な展覧会履歴

- 2006年 10月 「勝山健史の織物展」(京都・ちおん舎)
- 2007年 9月 「有水羽絹と洛風林の帯展」(東京・ギャラリー 一穂堂)
- 12月 「勝山健史 帯地展」(東京・ギャラリー無境)
- 2008年 5月 「古のきらめき展」(京都・ちおん舎)
- 2009年 7月 「古のきらめき展」(京都・ちおん舎)
- 2010年 3月 織物展「零」(東京・代官山ヒルサイドテラス)
- 8月 「貴き繭に込めた思い」(福岡・福岡アジア美術館)
- 11月 「勝山健史展 繭の原点から生まれる光沢のある絹糸を織る」
(東京・ギャラリー一穂堂)
- 2011年 3月 勝山健史「一雲」展(東京・旧古河庭園内 大谷美術館)

その他多数。